

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年七月度 入選句（投稿総数千八百一句・小中学投句数千七十句）

特選

選者 和田 勝子

日焼けして水着ぬいでもまだ着てる 大垣市 田中 美羽(小五)

水泳をした後、水着を脱いでも、まだ水着を着てるような姿、すごく頑張っている様子がよくわかりますね。現在の記録よりも上位をと目標に向つていらつしやる作者。本当に一生懸命な姿、意欲的であり、前向きな姿が「日焼けして」の言葉からしつかり伝わってきました。下五にも表現されているように、真剣に取り組まれた様子がよく表現され、すばらしい句ですね。

のぼりぼうてんまでとどけなつのそら 大垣市 ひろせ みやこ(小一)

休み時間へのぼり棒に登った時の様子を詠まれたのでしょうかね。頑張つてのぼり棒に登って頂点まで登り切った時の気持ちを素直に表現されてみえますね。まだまだ余裕のある作者。どんな登りたい気持ちも伝わってきますね。目標達成できた時の喜び、次への目標へと意欲的です。すごく前向きに頑張つていらつしやる姿がよくわかります。すてきな句ですね。

積乱雲 大きな怪獣おでましだ 美濃加茂市 大矢 みこ(中三)

暑くなると登場する積乱雲をうまく表現されてみえますね。知らないうちにムツと現われる雲、雲頂は、むくむくして本場に怪獣に似ているのでしようね。まっ青に広がる空に対照的な積乱雲。雲の様子をよくとらえていますね。表現力がすばらしいですね。

秀逸

てつぼうでそらがさかさまなつのくも 大垣市 きりやま おとや(小一)

夏木立はるか遠くを見る芭蕉 大垣市 久米 颯(小六)

夏こだち風のあいずでおどりだす 大垣市 大塚 梨音(小六)

夏の空芭蕉と同じ空みあげ 大垣市 植田 愛菜(小六)

見えるかな柳にかくれた四十雀 大垣市 柳江 友葉(小六)

太陽に負けじとふんばる向日葵さん 大垣市 井上 桃(小五)

蛩たち夜が出版だ飛び回れ 大垣市 富岡 香保(小五)

真つ青な空にそびえる雲の峰 美濃加茂市 金井 杏樹(中三)

雨つぶが遊ぶよかさのすべりだい 大垣市 関谷 泉吹(小四)

たいようがわたしをてりつけ黒くする 大垣市 白井 愛美(小四)

入選

そくてんのポーズきまつたつゆ晴れる 大垣市 三しま たくむ(小二)  
 あじさいが色とりどりのつぼみつけ 大垣市 野川 麻帆(小三)  
 なたねかり中でみんなが並んでる 大垣市 佐藤 愛歌(小五)  
 みずてつぼうとうさんむけてとぼしたよ 大垣市 やすだ ゆうと(三才)  
 水しぶきかえるが集まりすずんでる 大垣市 松村 若葉(小六)  
 田植えするみなもにうつる青い空 大垣市 細野 凧咲(小六)  
 にごり川静かにゆらめく水草よ 大垣市 東山 佳典(小六)  
 もやいぶねみずのもようがうつってる 大垣市 森島 若菜(小六)  
 夏落ち葉かがやく川に流れてく 大垣市 香田 萌花(小六)  
 暑い日もすずしさ運ぶ川の音 大垣市 手塚 麻緒(小六)

入選

夏の夕時を感じる芭蕉の句 大垣市 桑原 貫汰(小六)  
 夏の川ゆっくり動くもやいぶね 大垣市 清水 裕人(小六)  
 灯台と一都てらす夏の月 大垣市 藤田 壮汰(小六)  
 もう少し立つのがまんして泳ぎきる 大垣市 杉原 勇次(小三)  
 穏やかに進んでいくよかたつむり 美濃加茂市 山田 晴穂(中三)  
 新しいサンダルはいてどこ行こう 大垣市 大橋 琉生(小四)  
 まどあけてうちわですずむ子どもたち 大垣市 小林 千紗(小四)  
 セミたちが木に集まって会議中 大垣市 長瀬 僚汰(小四)  
 暗やみに大きな花が打ちあがる 大垣市 森下 香奈(小五)  
 ホタルたち夜空を光で色づける 大垣市 川瀬 唯華(小五)

選者吟

ねずみ花火サンダル脱げて逃げまどふ

勝

子